

# 福祉有償運送「オレンジゆずるタクシー」について

(R5年5月 障害者関係団体等への説明資料)

箕面市健康福祉部健康福祉政策室

R5年3月の説明では、今後の事業のあり方の検討方針を説明しました。

今回は、今後の事業内容検討にあたり必要となる、モデル事業の現状と分析結果を報告します。

## 1. 今後のゆずるタクシーの必要性の検討

車いす利用者の移動手段として、ゆずるタクシー等の車いす対応の福祉車両の確保が課題である。

### ■ゆずるタクシーを廃止した場合の影響

想定される現利用者の代替移動手段

- ・車いす利用者 → 介護タクシーやユニバーサルデザイン（UD）タクシー
- ・その他のかた → 一般タクシーやUDタクシー

### ■市内介護タクシーの状況

- ・ゆずるタクシーのモデル事業開始時から事業者数及び車両数が増えていない。
- ・午前は需要が多く、空きが少ない。（事業者ヒアリング結果）

### ■一般タクシー（UDタクシー含む）の状況

- ・箕面市を含む北摂交通圏では近畿運輸局の示す適正車両数を満たしている。
- ・UDタクシーが増えているが、介護タクシー利用者がUDタクシーに移行することがほとんどない。（事業者ヒアリング結果）

## 2. 今後のゆずるタクシー利用対象者

一般タクシーやUDタクシーを利用できない「車いす利用者」の移動手段としてゆずるタクシーを活用するため、ゆずるタクシー利用対象者を「車いす利用者」に限定する。（案）

### ■モデル事業の課題

- ・利用者や障害者関係団体から「予約が取りづらい」というご意見が継続的に挙がっている。
- ・原因は、平日午前の予約が重なることと、利用者が増大していること
- ・解決方法として、以下2点を実施したい。

#### ①学校送迎の分離

平日午前の予約の取りづらさを解消するため、新制度では学校送迎を分離し、ゆずるタクシーは一般利用者限定とする。

②今後のゆずるタクシー利用対象者を「車いす利用者」に限定（案）

- ・モデル事業中は利用対象者を広く認めてきた結果、現在、一般タクシーに乗車可能なかたもゆずるタクシーを利用している。これにより、会員が増大し、慢性的に予約が取りづらい状態が続いているため、解消するには利用対象者を見直す必要がある。
- ・福祉有償運送は、一般タクシーの利用が難しいかたを対象とするため、現在の利用対象者のうち「ゆずるタクシー（福祉車両）でなければ移動が難しいかた」と「一般タクシーでも利用可能なかた」に分け、「一般タクシーでも利用可能なかた」については一般タクシーの利用をお願いする。
- ・車いすを利用されている「福祉車両でなければ移動が難しいかた」については、介護タクシー等の利用が必要となるが、市内介護タクシー事業者及び福祉車両は、モデル事業開始当時から増えておらず、ゆずるタクシーが利用できないと移動手段が物理的に不足する可能性がある。そのため、今後は一般タクシーを利用できない「車いす利用者」に限定していきたい。

■車いす利用者の人数

- ・対象人数：2,895 人
- ・利用登録会員数：892 人
- ・実利用者数：351 人

利用区分	会員	車いす		会員の 車いす割合		
		登録者	実利用者			
障害	身障1級	432	142	57	33%	
	身障2級	245	78	33	32%	
	身障3級	140	16	10	11%	
	身障4級	190	16	9	8%	
	身障5級	31	5	3	16%	
	身障6級	29	5	4	17%	
	療育手帳A	126	25	16	20%	
	療育手帳B	60	3	2	5%	
	精神1級	13	1	1	8%	
	精神2級	37	0	0	0%	
	精神3級	10	0	0	0%	
	高齢	要支援1	361	29	24	8%
		要支援2	290	38	21	13%
要介護1		445	71	31	16%	
要介護2		359	100	40	28%	
要介護3		259	113	23	44%	
要介護4		159	104	27	65%	
要介護5		97	73	19	75%	
難病		-	-	-	-	
歩行困難	676	73	31	11%		
合計	3,959	892	351			

利用区分	本市移動 制約者	会員の 車いす割合	対象人数 (推定)		
障害	身障1級	1,292	33%	425	
	身障2級	552	32%	176	
	身障3級	596	11%	68	
	身障4級	977	8%	82	
	身障5級	202	16%	33	
	身障6級	204	17%	35	
	療育手帳A	507	20%	101	
	療育手帳B	633	5%	32	
	精神1級	84	8%	6	
	精神2級	664	0%	0	
	精神3級	436	0%	0	
	高齢	要支援1	725	8%	58
		要支援2	910	13%	119
要介護1		1,317	16%	210	
要介護2		1,034	28%	288	
要介護3		825	44%	360	
要介護4		742	65%	485	
要介護5		554	75%	417	
難病		1,117	-	-	
歩行困難	-	11%	-		
合計	13,371		2,895		

### 3. 車いす利用者の利用実績から見た必要台数の検討

#### ■ 運行回数実績から計算した必要台数：2台

- ・ R4年度 車いす利用者の運行回数：2,717回
- ・ R3年度 車いす利用者の運行回数：2,741回

#### <終日使って利用分散させた場合の必要台数>

【供給量の算出条件】		年中無休	日祝等休止 (年70日)
1日運行時間 (7-18時)	a	11h	11h
1運行平均配車時間	b	1.5h	1.5h
1日1台あたり運行可能回数 (切り捨て)	c(a/b)	7回	7回
運行日数	d	365日	295日
1台あたり年間運行可能回数	e(c*d)	2,555回	2,065回

【需要に応じた必要台数】		利用実績			
		年中無休		日祝等休止 (年70日)	
		R4	R3	R4	R3
対象者の年間運行回数合計 (=必要運行回数)	f	2,717回	2,741回	2,717回	2,741回
<b>必要台数 (切り上げ)</b>	<b>f/e</b>	<b>2台</b>	<b>2台</b>	<b>2台</b>	<b>2台</b>

#### <午前中の利用に合わせた場合の必要台数>

午前中 (7時～13時) の運行回数の割合は総運行回数の約7割

【供給量の算出条件】		年中無休	日祝等休止 (年70日)
午前中の運行時間 (7-13時)	g	6h	6h
1運行平均配車時間	b	1.5h	1.5h
午前中の1台あたり運行可能回数 (切り捨て)	h(g/b)	4回	4回
運行日数	d	365日	295日
1台あたり午前中の年間運行可能回数	k(h*d)	1,460回	1,180回

【需要に応じた必要台数】		利用実績			
		年中無休		日祝等休止 (年70日)	
		R4	R3	R4	R3
対象者の午前中の年間運行回数合計 (=午前中の必要運行回数)	l(f*0.7)	1,902回	1,919回	1,902回	1,919回
<b>必要台数 (切り上げ)</b>	<b>l/k</b>	<b>2台</b>	<b>2台</b>	<b>2台</b>	<b>2台</b>

■配車実績から見た必要台数：3台

学校送迎のない夏休み期間の車いす利用者配車実績は以下のとおり。

<R3年度 車いす利用者のみで3台以上同時配車が必要だったときの時間帯と必要台数>

日付	時間帯	必要台数	日付	時間帯	必要台数
7/26	—	—	8/2	9:00～10:15	3台
7/27	14:50～15:15	3台	8/3	8:45～9:15	3台
7/28	—	—		14:15～15:30	3台
7/29	10:00～11:00	3台	8/4	13:45～14:00	3台
7/30	8:45～9:30	5台	8/5	8:15～9:00	3台
			8/6	8:45～9:30	3台

#### 4. 運行体制の検討

■利用料金の値上げ（案）

利用料金については、R2年度から料金改定を見送っていること、一般タクシーの公示料金が上がっていること、また、ガソリン代等が値上がりしていることなども踏まえて、事業継続のために値上げが必要と考えている。

<p>&lt;参考&gt; 現在のゆずるタクシー料金：初乗り20分810円、30分まで1,230円 5月31日からの一般タクシー公示料金：30分3,150円</p>
--

■日祝、年末年始、GWの運行の見直し（案）

- ・毎年、日祝・GW・年末年始は運行回数が少なく、費用対効果から考えると休日運行のあり方を見直す必要がある。
- ・運行休止日については車両1台で運行可能な範囲であり、市内介護タクシー事業者の中でも運行可能な事業者があるため、民間事業者で対応可能と考える。

<R3年度 車いす利用者のみでの運行回数実績>

車いす利用者のみでの年間運行回数：2,741回

平日	1日あたり9.2回
土曜	1日あたり5.9回
日祝	1日あたり2.9回
GW(5/1～5/5)	1日あたり2.2回
年末年始(12/30～1/3)	1日あたり2.2回

} 利用が少ない

■当日予約の廃止（案）

- ・現在は当日予約に備えて運転手を配置するため、予約がない場合、運転手の待機時間となってしまう。
- ・R3年度 平日1日の平均運行回数43回中、当日予約は5～10件程度
- ・上記のうち、車いす利用者の当日予約は0～2件程度
- ・運転手の待機時間を削減するため、事前予約のみの受付としたい。